

SHIBAURA CAMP!

自由にえがく・自由をつくる

東京工業大学附属科学技術高等学校
立体造形・デジタルデザイン分野



タイムテーブル

16:00～開会式



16:40～建物内見学



17:00～基地づくり①



18:30～夕食



19:25～レクリエーション



20:15～基地づくり②



—22:00～消灯—

7:30～朝食



8:00～基地づくり③



13:30～発表会・交流会



13:30～片付け・掃除



16:00～まとめ・解散



概要

主催: SHIBAURA HOUSE
実施・運営: 東京工業大学附属科学技術高等学校 立体造形デジタルデザイン分野有志
実施日時: 2017年8月5日16:00～6日16:30
実施場所: SHIBAURA HOUSE
ワークショップ参加者: 小学2年生～6年生 12名,
スタッフ構成: 高校生 10名, 大学生(OB) 2名, 教員 3名, SHIBURA HOUSEスタッフ 2名

備考: 日本建築学会・第7回子どものまち・いえワークショップ提案コンペ 最優秀賞受賞企画

会場情報



7つある階層すべてがガラス張りの建物。4階はオフィス,1,2階は通常地域の人々に解放されている。また,1,2,3,5階はレンタルスペースとして貸し出していて,様々なイベントが開催される。
住所: 東京都港区芝浦3-15-4
HP: <http://www.shibaurahouse.jp/>

ワークショップの内容

テーマ: 非日常的な体験の中でのものづくりの楽しさを感じてもらいたい

活動内容: 3班に分かれてSHIBAURA HOUSEの中に自分たちが寝泊まりできる基地を作りそこで1泊2日のキャンプを行う。段ボール、牛乳パック、紙管などの身近な材料を使って、「等身大のものづくり」を体験する。

ワークショップの結果

東側断面図

平面図・配置図

成果物

南側立面

材料: ビニールシート
紙管, 段ボール
プラダン, etc.
小学生: 5名

材料: 梱包材, 紙管
段ボール, 机
etc.
小学生: 4名

材料: 梱包材, 紙管
段ボール, 綿
etc.
小学生: 3名

A班はSHIBAURA HOUSE内で最も広い5階を使用した。広さを活かしてメインとなる基地と, その周りに各班員の部屋を作成した。メインとなる基地はバラバラの大きさの段ボールを小さく同じ形に切りそろえて一枚の大きな壁を作った。また太い紙管の中に細い紙管を2本入れてジョイントとして用いることで, 長い柱と梁を作った。

B班は3階で基地を作成した。3階には長机が置いてあり, その机を基地作りに利用していた。紙管を机の脚に結び付けることで, 強度のある柱を立てた。机を利用することで, 2階建ての基地を作ることが出来た。段ボールの壁に穴を開け, 水色のセロハンを貼ることで基地の名前の由来にもなった富士山を表現した。

C班は2階で基地を作成した。床材に段ボールを詰めた牛乳パックを使用した。牛乳パックに段ボールを詰めることで人が乗っても耐えられる強度になった。背の低い壁で基地を作ったため屋根は半分だけかけることで圧迫感を小さくした。屋根は梱包材の上に綿を薄く乗せることで雪を表現した。

